

JMC 米欧亜 IT トレンドウォッチ

2008 年 7 月 25 日

データ編:

最近の主なIT業界動向調査の概要

<ハードウェア>

- 世界における 2008 年第 2 四半期の PC 出荷台数は、前年同期比 15.3%増の 7,064 万台に達した。メーカー別市場シェアは、①Hewlett-Packard (HP、18.9%)、②Dell (16.4%)、③Acer (9.9%)、④Lenovo (7.9%)、⑤東芝 (4.4%)。米国における 2008 年第 2 四半期の PC 出荷台数は、景気後退から成長率が停滞した結果、前年同期比 3.6%増の 1,699 万台に留まった。メーカー別米国市場シェアは、①Dell (32.0%)、②HP (25.1%)、③Acer (7.8%)、④Apple (7.8%)、⑤東芝 (5.2%)。欧州・中東・アフリカ (EMEA) 地域では、ノート型 PC への買い替えと超低価格 PC の人気に後押しされ、堅調な成長を示した一方で、日本を除くアジア・太平洋 (APEJ) 地域では、エネルギー価格高騰とインフレーションの懸念から予測値を下回る結果となった(具体的数値は不明)。(2008/7/16、IDC)
- 2008 年第 2 四半期のルーマニアのコピー機出荷台数は、多機能プリンター (Multifunction Peripheral: MFPs) の人気に牽引され、前年同期比 24%増の 25 万台に達した。PC、デジタル・カメラの利用増加と MFPs の価格が下がったことが影響した。(2008/7/16、IDC)
- 2008 年の TFT (薄膜トランジスタ) 液晶ディスプレイ向け製造装置の売上高は、前年比 58%増の 130 億ドルに達する見込み。各メーカーは、2008 年の需給バランスを考慮する必要があるものの、2009 年の TFT 液晶ディスプレイ製造を大幅に増やすと見られる。地域別では、2008 年の同製造装置に関わる設備投資の 40%は韓国、37%は台湾となる見込み。(2008/7/18、DisplaySearch)

<支出>

- 世界における 2008 年の半導体製造装置のための設備支出は、4 月 16 日付の予測値が下方修正され、前年比 22.4%減の 492 億ドルとなる見込み。2008 年は、半導体の全分野において 2 桁台のマイナス成長が予測されているが、2009 年以降は回復し、緩やかな上昇が見込まれている。(2008/7/10、Gartner)

<TV 関連>

- 東南アジア (インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、シンガポール、ブルネイ、ラオス、カンボジア、ミャンマー、マカオの 11 ヶ国) における 2012 年の液晶 TV の出荷台数は、2007 年の 160 万台から年平均成長率 53.9%増で成長し、1,350 万台に達する見込み。2012 年の売上高は、2007 年の 12 億ドルから年平均成長率 38.6%増で成長し、63 億ドルに達するとの予測。東南アジアの TV 市場において、2011 年に液晶 TV の出荷台数がブラウン管 TV の出荷台数を上回ると予測されている。(2008/7/10、iSuppli)
- デジタルテレビ放送サービスの拡大に伴って、PC 用 TV チューナーの需要が増加し、2012 年には世界における PC 用 TV チューナーの出荷台数は 3,080 万台で、売上高は 17 億ドルとなる見込み。アナログ向けの PC 用 TV チューナーは、2005 年は全体の 60.1%だったが、2007 年には 39.7%まで減少した。特に、西欧、日本における需要が増加している。(2008/7/16、In-Stat)